

## 第44回茨城県統計大会開催

去る平成14年11月25日(月)、水戸市の茨城県立県民文化センターにおいて、第44回茨城県統計大会が開催されました。県内から約1,000名のご参加をいただき、盛況のうちに終了することができました。

今日、低迷する経済・産業の構造改革が進められるなど社会経済システム全般にわたり、大きな変革の流れの中にあって統計に対する要請と重要性はますます高まってきております。

統計大会は、昭和34年に第1回大会が開催されて以来、統計がそれぞれの時代の要請に応えられるよう、県内の統計関係者が一同に会して、統計功労者の表彰や児童・生徒の統計グラフコンクール表彰などを通じ、統計事業の進歩発展、統計知識の普及向上、統計教育の振興を図ることを目的として開催されております。

大会は地元合唱団「野ばら会」によるさわやかなコーラスとともに幕をあげ、青宿一男江戸崎町統計調査員の開会の辞で始まりました。主催者である橋本昌知事のあいさつの後に、統計調査に長年従事され、功績が顕著な方々に対する県知事表彰、統計功労者に対する県統計協会総裁表彰、各省庁大臣表彰伝達のほか、統計グラフコンクール及び統計グラフの標語の表彰が行われました。

次に、水戸市の内田俊子統計調査員から受賞者を代表して謝辞がありました。続いて、ご臨席された総務省統計局統計基準部柚木俊二部長、飯野重男県議会副議長、齋藤和夫県町村会長からそれぞれご祝辞をいただきました。

次に、大洋村の荒野吉治統計調査員から、より良い統計調査環境づくりに努めるとともに、県民のニーズに即した情報を分かりやすく利用しやすい形で提供することなどに努めるとの「大会宣言」が朗読され、満場の拍手で採択され、最後に水戸市の櫻井磐雄統計調査員の閉会の辞で式典は終了しました。

今年は「統計の日」が制定され30周年を迎えました。これを記念し式典に引き続き「少子化と日本人口の行方」と題し、国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部長高橋重郷先生の記念講演が行われ、参加者の熱心に聞き入る姿が多く見受けられました。

大会の開催にあたりご協力をいただきました関係者の皆様、並びに大会にご出席されました皆様に対しまして、厚くお礼申し上げます。

